

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（67）
2. 日 時：令和3年2月12日 10時00分～12時25分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

三浦上席安全審査官、植木主任安全審査官、皆川主任安全審査官、
宮本主任安全審査官、土居安全審査専門職※、服部安全審査専門職、
谷口技術参与※、山浦技術参与、西澤原子力規制専門員

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

東北電力株式会社：

原子力本部 原子力部 課長、他2名

原子力本部 原子力部 部長、他2名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「新型コロナウイルス感染症対策に係る原子力規制委員会の対応の一部変更について」（令和2年6月24日 第12回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（竜巻防護ネット）（〇2-他-F-17-0004_改0）
- （2）VI-3-別添1-2 防護対策施設の強度計算の方針（〇2-エ-B-17-0013_改1）
- （3）補足-600-12 竜巻防護ネットの耐震構造設計（支承構造）につ

- いての補足説明資料（〇２－補－E－19－0600－12__改1）
- (4) 補足－710－1 【竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書の補足説明資料】（〇２－補－E－20－0710－1__改2）
 - (5) 詳細設計段階における対応状況（竜巻防護ネット）（〇２－他－F－17－0003__改1）
 - (6) VI－5－1 計算機プログラム（解析コード）の概要・TONBOS（〇２－E－B－22－0008__改0）（令和3年2月2日提出資料）
 - (7) 工事計画に係る補足説明資料 補足－900－1 【計算機プログラム（解析コード）の概要に係る補足説明資料】（補足－600－12 竜巻防護ネットの耐震構造設計（支承構造）についての補足説明資料において使用している計算機プログラム（解析コード））（〇２－補－E－22－0002__改0）
 - (8) 工事計画に係る補足説明資料 補足－900－1 【計算機プログラム（解析コード）の概要に係る補足説明資料】（補足－710－1 竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書の補足説明資料において使用している計算機プログラム（解析コード））（〇２－補－E－22－0001__改0）（令和3年2月2日提出資料）
 - (9) 詳細設計段階における対応状況（竜巻防護ネット）（概要版）（〇２－他－F－17－0007__改0）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:07	50 こちら原子力規制庁の宮本です。それでは
0:00:12	本日 2 月 12 日の女川が 2 号炉に関するホールディングのヒアリングを返しますの、説明のほうを開始してください。よろしくお願いします。
0:00:26	はい、東北電力の阿部でございます。それでは表を竜巻防護ネットにかかるヒアリングということで整理資料の確認をさせていただきます。
0:00:35	資料ですが、資料 1-1、こちら資料番号がつうの他っていうのを 170004 回ゼロ。
0:00:44	こちらの指摘事項の回答整理となります。
0:00:48	次に、資料 1-2 にスポーツのほうの B-17003 歳 1、
0:00:56	では、6-3 の別添 1 の 2E 竜巻いい方向対策施設の強度計算書の方針になります。
0:01:04	次に資料 1-3。
0:01:06	もう II のほうの D-190600-12 回位置
0:01:12	こちらは補足のほう 670 人 DG 竜巻いい方法ネットの耐震構造設計についての補足説明資料となります。
0:01:21	次に資料 1-4、
0:01:24	図のこの d の二重の O0710-5-1、会議、こちら遅くっていうのを 710-1 竜巻への配慮が必要な施設の評価に関する説明書の補足説明資料になります。
0:01:41	次に資料 1 の交通 KF-170003 回
0:01:48	こちらの詳細設計における対応状況ということで、竜巻 PT をネットの比較をしたものでございます。
0:01:56	次に資料 1-6 図のほうの P-220008 回ゼロ。
0:02:03	6 の下段のグラフの管理 会コンポスト多いことで、こちらが 2 月 2 日の資料をそのまま使っていただきます。
0:02:13	資料を 1-7 を通報の P-22、1-002 の改善、こちらは補足の契約の 1 ということで、再循環系のプログラムのところの御説明になります。
0:02:25	次に、資料 1-8 交通のほうの E-220001 の体制を
0:02:32	補足 900 紛れこちらコード 2 件強度に関わる計算プログラムの説明でございます。
0:02:39	最後に資料 1-9 交通の他の CAPE の 170007 の改訂の詳細設計段階における対応状況竜巻防護ネットの方から要望事項ことで、今回準備させていただいてございます。
0:02:53	また本日の進め方ですが、今ほど説明いたしました資料 1-9

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:59	こちら、設置許可段階と詳細設計段階での説明の概要をまとめたものでございますので、こちらを先に説明させていただきたいというふうに思います。
0:03:09	そのあと、先日のヒアリングの指摘事項。
0:03:13	こちらのコメント回答をベースにですね、まず強度関係でそのあと耐震関係と、こういう流れで進めさせていただきたいと思います。
0:03:23	なお、資料1-4、こちらのほうを竜巻の業務に係る補足説明資料ですけれども、こちらに先日実施しましたが既設設備のほう竜巻の評価でのヒアリングで使いました家屋説明資料もを含めて提出してございます。
0:03:40	こちらについては、今回の御説明対象でございませんので、本日はその中の基本と積を竜巻防護ネットのところに係るシリーズの内容を説明させていただきたいというふうに思います。
0:03:54	それでは、説明のほうから回答させていただきます。
0:03:59	東北電力のザマです。それではご説明させていただきますと、まず竜巻防護ネットの構造などで前回、Dtとの比較というところで、申請書まとめ塩ベースで話を今回資料1-5というところで御説明させ、
0:04:16	ましたが、
0:04:17	今回、そちらも記載の充実。
0:04:22	それからCP。
0:04:23	主な変更箇所という観点でですね、概要版としてこちら資料1-9というところで今回準備させていただきましたので、こちら、
0:04:36	まず、こちら8枚ものになってございまして、左の欄がまとめ資料から抜粋した内容を記載しているところでございます。
0:04:45	まず、①番ですけれども、竜巻防護ネット全体の構造につきましてへ海水ポンプ室補機ポンプエリアの掛け金南側の各計器は壁厚が薄くグレーの支持できないというところでございましたので、
0:05:00	自分の厚みがある東西の側壁にブラケット取り付けそれによってフレームを指示するためのバリアを設置することとしてございました。
0:05:09	またフレーム上はですね、非常用海水ポンプのメンテナンスですとか、大型クレーンの吊上能力を考慮して5分割するというような構造として検討を進めてございました。
0:05:22	一方、右側の欄をご覧いただきまして、詳細設計段階におきましては、耐震性確保のために実施する海水ポンプ室の補強計画を竜巻防護ネットの設計に反映してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:35	具体的には、東西の側壁上部への業ばり設置伴いまして、海水ポンプ室東西方向の開口幅が狭くなりましたので、フレームの傷沖から4期に見直してございます。
0:05:49	また南側掛け金の補強、こちらを踏まえまして、南学的の神戸以上にバリューを設置することといたしまして、当然側壁へのブラケットは設置しない。
0:06:01	ということといたしました。どう下の図1というところにもネットです。今ご説明した内容につきましては記載をさせていただいております。
0:06:11	次のページをご覧ください。
0:06:15	どうぞ。
0:06:16	2ページ目、こちらはですね、女川2号機の竜巻防護ネットにつきましては、視床構造の採用という点が大きな特徴でございます②番は公務支障③番は可動支承また④番のフレームにストッパ取りつけるというところで、
0:06:33	etから設置をするというところは詳細設計段階でも変わっておりませんが、
0:06:41	に際して、
0:06:42	ほか方針として、いずれの処分も強調。
0:06:49	詳細、
0:07:04	3ページ
0:07:11	ここからは、設置許可段階の最後の断面ですね、詳細設計段階では、
0:07:17	評価を進めて、
0:07:19	ところの
0:07:23	まず、
0:07:26	調達解析において、
0:07:29	工場検査報告で、
0:07:35	どう。
0:07:36	より現実。
0:07:41	だから、
0:07:42	で、3方向だ。
0:07:50	もう
0:08:07	4ページ。
0:08:08	或いははず、
0:08:13	こちら設置許可段階での構造
0:08:16	右に用いた評価フローで、
0:08:20	先ほどの⑤番とも、
0:08:23	ほか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:29	組み替えた形で、
0:08:34	どうぞ。
0:08:45	右側の物産イベント
0:08:48	これがそのフロー組みかえて詳細設計段階では、このようなフローとしますと いうことで記載させていただいております。
0:08:56	右側がそれに対応する形で、詳細設計段階で設計フローとして考えた評価フ ローとして、
0:09:05	整理したものでございます。
0:09:07	この中では、ブラケットそれからストッパにつきましては、初めに御説明しまし た通りでしょう。
0:09:21	次のページをご覧ください。
0:09:28	まで7
0:09:32	何を受ける構造成立性
0:09:35	で、
0:09:37	飛来物が衝突した場合に、
0:09:41	で、
0:09:46	等行うことで、
0:09:52	ただし、
0:09:57	一応変更と
0:10:03	どうぞ。
0:10:05	着火寸法です。
0:10:07	滞納配置する。
0:10:09	下の図4というところ。
0:10:14	備考欄に書いてございますが、先方の修正等サトウ⑦番の例で取り付けボル トの設置の方法の見直ししているというところが大きな変更点かな。
0:10:29	井上
0:10:34	面としまして、
0:10:37	では、
0:10:53	社債、
0:10:56	右側。
0:10:58	フローも、
0:11:10	ちょっと最後の
0:11:12	1ページ目。
0:11:16	ところで、
0:11:17	使用

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:19	どうぞ。
0:11:23	一応、
0:11:25	どうも、前回、
0:11:34	割り込む職同じ
0:11:44	御説明内容から詳細、
0:11:56	あれば、
0:11:57	はい。
0:12:01	じゃあ、
0:12:02	どうぞ。
0:12:06	まで少し網羅的に変更点、
0:12:10	以上
0:12:12	変更点
0:12:15	本日はありがとうございました。
0:12:23	ところで、
0:12:25	事務所のところは、
0:12:28	内容は理解してるんですが、
0:12:34	法務省の機内で今後支障のない情報誌についても有するもの教育
0:12:41	歩道橋土壌 60 万ずつさせる方針内容わかってるんですけど。
0:12:48	何にすることによってこれができるようなんでしょう。
0:12:55	東北電力の相良です。
0:12:56	事業化段階ではゴムの必要条件がほぼ一定として評価をしていましたので、 どこ名
0:13:05	事象に生じる応力度とか非常に高いというところ。
0:13:10	事象が一部強調満足しないという結果が、
0:13:19	以上が、一方、壊れたとしても竜巻防護
0:13:25	許可段階で、
0:14:07	次に、3 方向固定にしたものを
0:14:10	3 をここで入れなくてさ報告男性に書いてるわけですよ。それを試験の結果 だと思ってるんですけど、そもそもの作法固定したっていうのがどういう意図で それをやってただけど、それを変更している良くなったっていうかそのまし試 験機加工踏まえたと思うんですけど、その流れが少しここだとわからない。
0:14:29	そこは明確に書いてくださったんで、それとあと、そのあとで出てくるただけど。
0:14:36	それも一つの企業育ち後々の学芸課としての場合はボルトの最下部とゴム支 承のほうは別途御無償の主要を詳しく一番最初に出てくれたけど、要はフレー ム首相方法。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:52	割と合わせたってというような主要な事項も動きをしてるわけですけど、ちょっとどっちが先容量がないんだけどその
0:15:00	まずそもそも実験結果を
0:15:04	が、剛性のままピックアップ適正化という保守的な考え方を踏まえて、設置許可段階で実験の結果を踏まえた剛性リンが出て、
0:15:16	もうそれでもそもそもまずつる防止に結構しました。
0:15:22	それを踏まえて、設計の段階でボール搭載がアップしたり、総務省のサイズを変更したりしたとしましたんだと思うんだけど、その流れが若干今の書き方とどっちが先がよくわかってる。
0:15:39	それとアップができるのか確認できて、要は大場リーダーのほうの人フレームもの首相も
0:15:47	要は大きくすることが多分補強かなんかでなったから、
0:15:52	できるようなものがそもそも構成で適正化を図ってから、それを踏まえて設計やり直したらそういうのが、
0:15:59	選択できて、結果的にこれ繋がったのかちょっとわかんないんで、今、今の
0:16:07	内容としてはどちらが先なんですよ。
0:16:11	どっちなんです。
0:16:13	そうですね。答弁クラブですけども。
0:16:16	本章の変更っていうところが変更っていうか、
0:16:21	要は、直接
0:16:25	改善をねらったっていうよりは、設計をしていく中での合理化ができるということで、今日のこの
0:16:32	再増を一つにした。
0:16:35	可動支承に関してはおっしゃる通り、やっぱり
0:16:41	1回終わってしまっているものが見えてきたというのがテーマだという。
0:16:48	やっぱり一番最初、EPDM御説明させたと。
0:16:52	もらうには、その考え方としてはこうで、まずはやっていて、
0:16:58	影響を及ぼさなければいいんだけど、そういう思想で最善の方法、
0:17:02	はい。
0:17:04	ありましたので、
0:17:07	ちょっとこのところに少し
0:17:11	わかりやすい。
0:17:14	ちょっとその辺をよろしく願います。
0:17:16	内容的には理解してるんですけど、その流れを明確に整理しておいたほうがいい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:22	よいしょ詳細設計で決起図ということの設計にあわせて、
0:17:28	設計進捗に合わせてこられましたっていうのが初めての作業時間されてないんで、その定義はわかりました。
0:17:37	はい。
0:17:41	あとはですね、もう6ページのところについて、
0:17:45	結局、
0:17:50	最も裁断法律の仕様変更を書いてあるけど、
0:17:55	このなんてよくわからないからよくわからないんです。
0:17:58	次のページ、
0:18:01	はい。
0:18:02	サイズを
0:18:06	どれぐらいアップしたんですよねっていう仕様を例えばカバーさせたということで、
0:18:13	その手法の変更。
0:18:15	何かがよくわからないんですけども、中身ができる代理人サイズだ。
0:18:25	グループワークフィット東北電力のザマです。6ページ目の図4にする方法。
0:18:32	そうですね、記載してございます拡大縮小の観点で左右同じように見えてしまうんですが、
0:18:41	上のところにですね。
0:18:45	うん。
0:18:47	詳細はまた
0:18:53	でも、
0:18:55	なおですけれども、これとの差異ということで言うと、応答の差異が直接は書いてございませんサイズアップっていうの学的だけこれ自体をされた貯槽全体的に、はい。
0:19:09	はい。
0:19:12	二目があります。
0:19:14	アベ
0:19:20	800
0:19:23	こういうぐらいですけども。
0:19:27	また、
0:19:30	大きくできないと言って、
0:19:33	としては、ブラケットじゃなくなった。
0:19:38	はい。
0:19:42	及び

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:45	それを支えますので、
0:19:48	そして、それぐらい。
0:19:53	このサイズで、
0:19:56	やっぱそのブラケットじゃなくて、今回変えたから、
0:20:04	あまり関係ないですよ。
0:20:07	別にどっちかといって、
0:20:10	今、
0:20:13	この際でもサイズに合わせられる。
0:20:16	先ほど、
0:20:21	ここのちょっとびっくりもう少したっしょ。
0:20:25	どうぞ。
0:20:27	これ単価理由。
0:20:29	大事な理由を同じように、
0:20:34	自由な広げるサイズのを
0:20:39	それから、エンプラベースなかなかちょっとそういうふうな
0:20:43	はい。
0:20:47	としてオフィサーというとならえ方も、
0:20:50	変わったと思うっていうのを例えばこういうものとなったという、すべてちょっと記載するのが難しい。
0:20:59	ユニデンとしてわかるように、
0:21:05	ドイツでした。
0:21:06	はい。
0:21:08	交流会でもわからないから。
0:21:11	8 ページに評価があるでしょうと同じようにまとめて、
0:21:15	はい。
0:21:20	はい。
0:21:23	一番最後の不得手で、
0:21:26	法務省が証言がクリック支所のほうのゴム支承が改造表現とか 3 ザマされて置かれて相なったっていうのはどこに書いてあるんだけど。
0:21:42	どこ、
0:21:44	もともと何でできなかったんでしょうか。
0:21:48	同じ。
0:21:51	6 電力のザマですね、北側の隔壁につきまして、今回詳細設計段階で掛け金神戸龍少し貼り出して、その上に個目支所設置して、フレームの設定というふうにしてございますのでそれに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:07	伴ってフレームゴム支承のサイズアップっていうところも場所できるようになったというふうに
0:22:14	そして、
0:22:15	やはりバローに関しては、ちょっとそこが大きいなら明確に1人の方がいいか。
0:22:22	要は、アベがらやっぱり前者のほうにいて議論が不在が多くできるようになったというのは、それは一つの大きな変更点について、そういうまで結果的にこういう形になったというところがあるよ。
0:22:36	。
0:22:36	この資料を出しております。
0:22:48	ということだけ。
0:22:52	Webの方で、
0:22:54	この資料で何か質問ありますか。
0:23:03	じゃなければ次の
0:23:05	説明します。
0:23:07	東北電力ザマです。そうしましたら、続きまして資料1-1の回答整理表、
0:23:14	の方で
0:23:17	いただいた内容に対して、該当する資料とあわせて御説明
0:23:24	1-1。
0:23:25	はい。
0:23:27	まず強度のほうから御説明
0:23:32	小括事項のNo.48月最終の内容です。こちら後程
0:23:40	の
0:23:41	資料送り事項No.8というところにつきましては、衝突方向に対する影響についてというところで、
0:23:49	後程ですね、同じような図面等ございますので、そちらとあわせ、
0:23:58	地域から4が、こちらの6-3で、
0:24:03	資料の1-2棟。
0:24:05	1-2の内容のコメントですので、こちらからまず。
0:24:15	事故。
0:24:17	防護対象施設の補正よそ別の荷重の組み合わせにおける竜巻防護ネット防護評価内容について、
0:24:24	その評価を不要とした理由を説明すること。
0:24:30	では、
0:24:32	5番の口頭説明

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:35	それが、
0:24:39	下のページで 14 ページのところ、
0:24:46	今日のこの津波防護ネットの構造計画というところで、今回あの図を追加させていただいておりますが、5 番の構造説明
0:24:58	同時に、
0:24:59	6 ページ
0:25:03	規模感は支持部材の活用で、
0:25:06	あることから、
0:25:07	母岩の構造強度評価は、
0:25:16	片岩
0:25:19	竜巻防護ネット
0:25:21	及び
0:25:24	各部の詳細な構造や機能を整理して説明すること。
0:25:28	紙の重ね合わせ
0:25:33	こちらですね。
0:25:36	通りです。
0:25:38	こちら、
0:25:43	こうした箇所は 11 ページ目に、
0:25:46	消費され、
0:25:47	で、
0:25:48	どう中段がところで接続事業指示ではってところの記載をまず
0:25:56	賛成です。
0:25:59	同表 2 のこの構造計画 3 分の 1 から 3、
0:26:04	2、
0:26:07	それから 15 ページに絡みの重ね方に関する
0:26:15	No.の三番目ですけれども、来防護ネットの構造強度評価において鑑の 1 枚の展開方向の荷重に対する評価の考え方。
0:26:29	どう。
0:26:38	黄色でハッチングしたと。
0:26:41	ちらの記載を、
0:26:44	はい。
0:26:46	内容をですね。
0:26:50	そして、
0:26:54	15 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:56	15-6 の下の部分のか並みの許容引張荷重はっていうところで記載はして りましたが前段のところに、
0:27:05	これを厳格ところで、
0:27:13	まず鉄塔No.4、
0:27:16	飛来物の防護場合の衝突について5/貫通しない部材厚さを
0:27:23	また妥当性について、
0:27:28	こちら鉄塔が補足ご準備
0:27:42	どうぞ。
0:27:43	かなり後ろのほうでございますが、4本。
0:27:52	項番の関税評価について、
0:27:56	資料を今回追加させていただきました。
0:28:03	Gがですね。
0:28:06	市では、
0:28:08	うちから、
0:28:10	それから五、六万、
0:28:29	はい。
0:28:31	まず
0:28:33	先ほどの
0:28:34	判断御説明でも防護版の概要図というところを先に載せてございまして、報告 案についてはBR式で算出される許容限界厚さを下回らないことという評価 としてございますが、
0:28:49	ナガノ竜巻防護ネットの構造母岩の構造に関してのBIN式が適用できるのか どうかというところで、コメントをいただいておりますので、その適用性に関してまた あの評価として認知してございますので、その内容について、
0:29:06	記載をしたものでございます。
0:29:09	同事業文献等の比較という形で4ポツ2-3ページ4ページですね、表にまと めてございますが、お腹の竜巻防護ネットの5番の貫通評価に対してやれる 式を適用することは妥当だというふうに整理をしてございます。
0:29:27	詳細につきましては記載を記載の通りですので説明は割愛。
0:29:35	以上が
0:29:36	何か。
0:29:39	に関する
0:29:44	よろしければ、そのまま
0:29:46	関すること、
0:29:49	どう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:53	10 から 16 というところ、共同の個目。
0:29:58	もう
0:30:01	80 です。
0:30:04	竜巻防護ネットについて詳細設計の結果を踏まえた平面図及び俯瞰
0:30:13	内容です。
0:30:15	では、どうぞ。
0:30:20	乙 1 の
0:30:22	7 ページ目。
0:30:41	7 ページ目に竜巻防護ネット等の周辺の構造物と時間的こちらの図を追加をしてございます。またこれに伴って、これを踏まえまして、衝突解析においてどのように考慮するかというところにつきましては、4 ポツ 1 の 53 ページ。
0:31:02	2、
0:31:07	参与追記いたしますが、
0:31:13	乙 1 の 53 ページ目ですけれども、中段のポツというところで、竜巻防護ネットの構造や周辺構造物の配置を踏まえて、飛来物が衝突しうる二つ設定するというところで考え方に変わりはございませんが、明確化したというところがございます。
0:31:34	続きまして、
0:31:37	整理表の 11 番のコメントにつきまして、衝突解析における衝突姿勢について、不確かさケースの長辺書
0:31:46	すみません。
0:31:49	先ほどの申し送り事項の内容もございましたので、少し施設、
0:31:57	資料 1-4 の保守
0:32:02	資料 1、
0:32:13	衝突方向に対する影響というところで長辺衝突の評価を実施する考え方ですとか、代表的な外付け洗缶する構造成立性を確認した結果というところで、今回この 6 章にですね追記を
0:32:31	なぜ(1)の評価ケース。
0:32:36	フォローもそうですけれども、考え、
0:32:40	2 号機の
0:32:41	防護ネットが、
0:32:43	避難等の竜巻防護対策施設とかと比べまして、
0:32:50	しておくの解析を
0:32:55	はい。
0:33:01	どうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:02	2、
0:33:08	明確化した。
0:33:14	4 ページ。
0:33:23	国の構造成立性の確認というところで監視しまして、前回はゴム支承の剛性のばらつきの影響というところまで結果としてお示ししてございました。
0:33:37	その影響が考慮した結果をまとめておったんですが、今回の飛来物の衝突による影響長辺衝突による影響というところについても確認してございますので、この(2)のところに、
0:33:50	記載を追加してございます。
0:33:53	具体的には、66 ページをご覧ください。
0:34:01	66 ページの表 6 のほうにですね、前回お示した結果No.1 から 9 に加えて、各部所近傍の鉛直方向の衝突ということで、それも含めまして、長辺衝突に業務を考えて確認してございます。できるでハッチングした 7 係数、
0:34:20	その結果について今回追加で記載してございます。
0:34:25	67 ページ目が、その嫌いが衝突
0:34:29	3 ページ総括と長辺衝突というところを記載したものでございます。
0:34:36	次に 68 ページ目に行きまして、
0:34:40	解析結果につきまして、68 ページではですね、個目の法制ばらつきによる影響を確認する内容になりますので、その旨記載を適正化してございます。
0:34:53	について、いずれも許容値を超え、
0:34:58	何か
0:35:08	表 6-6
0:35:15	に与えられた反力を用いて、
0:35:19	はい、とかですね。
0:35:24	内容
0:35:31	70 ページ目。
0:35:35	飛来物の衝突
0:35:38	長辺衝突による影響確認結果
0:35:43	70 ページ
0:35:44	一段落目に、
0:35:47	どう。
0:35:50	すみません、まず先に 70 ページ目の
0:35:53	表のほうから御説明

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:57	表 6-8 と 6-9 に結果を載せてございますが、こちら、例えばNo.1、こちらが短編衝突でNo.13 が長辺衝突ってということで、同じ箇所に短辺と長辺やってたってというのは、
0:36:11	わかるように記載をした。
0:36:14	こちら見ていただきますと、いずれ
0:36:17	解析
0:36:18	しても許容値を満足するということを確認。
0:36:23	どう触れ
0:36:24	に関しては、
0:36:32	以上です。
0:36:34	これ可動支承に関しましては、長辺衝突による影響が大きいということが、
0:36:43	藤久ページ目に動かせていただきますので、
0:36:47	どうも。
0:36:48	一段落目はその結果に対する内容でございますので今ほど、
0:36:52	従い、
0:36:56	それを記載してございまして、
0:36:59	長辺衝突であった。
0:37:03	で、
0:37:04	大きいため、飛来物の局部に作用する荷重は小さい。また、その投げそんな比が小さいですので、ライトアップに対する強度が高い。
0:37:14	ちょっとうちのエネルギー消費がないので、
0:37:18	される荷重
0:37:19	昔で起きてない。
0:37:23	また、
0:37:23	どう下の図 6-6 に示す。
0:37:26	森ゴム支承に対しましては、事象の配置上、所の設置位置と飛来物の衝突位置の中心が合わないという。
0:37:38	それエネルギーは処分集中せず、
0:37:42	明日
0:37:45	で、稼働したい。
0:37:47	影響が大きくなるように、市場の設置位置と飛来物の
0:37:52	あわせて、
0:37:57	はい。
0:38:00	上部に
0:38:01	それで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:11	以上の構成のばらつきによる影響、それから長辺、
0:38:14	より撤去っていうところの構造成立性の確認を踏まえまして、
0:38:20	71 ページ目。
0:38:27	してございます。
0:38:29	もと整理。
0:38:31	基本ケース。
0:38:34	こちらの方。
0:38:35	による
0:38:36	限られ、
0:38:42	括弧Aとしてフォーメーション母線ばらつきには
0:38:47	基本的に、
0:38:51	補正
0:38:52	それで、
0:38:56	その後、
0:38:58	それで、どうでしょう。
0:39:01	評価に対してであっ
0:39:05	所及び
0:39:06	評価に対してでばらつきを
0:39:13	評価
0:39:14	で、
0:39:17	うん。
0:39:19	いや、
0:39:20	考え。
0:39:22	はい。
0:39:24	ケースとして、
0:39:27	やるというふうに
0:39:35	ほか、
0:39:39	にくかっコピーかdポツの飛来物の衝突による影響評価につきましては、竜巻防護ネットの構造ですとか周辺構造物配置関係を踏まえすと、
0:39:50	飛来物の条件衝突が起こり得る可能性は低いというふうに考えてございますが、
0:39:56	飛来物の衝突する位置によっては影響が大きいという傾向が見られましたので、
0:40:01	このケースに対して聴検層衝突しうる形成につきましては、
0:40:06	飛来物の衝突

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:11	ちょっと、
0:40:21	本件、
0:40:23	する。
0:40:26	セル影響に関しては、
0:40:28	売れもしする指示地上部、
0:40:31	考えまして、
0:40:39	兵働ご説明
0:40:40	総代ご説明
0:40:53	ばらつきによる影響を評価することといたし
0:40:58	NASAケース(2)として、飛来物の衝突性に対する影響に関し、
0:41:03	では、
0:41:05	基本的には評価を実施することといたしまして、
0:41:11	72 ページの下ですね、旅行補強材フレーム地盤の横補強材につきましては、 長さが飛来物長兼寸法未満ですので、じゃあについては実施しないとする以 外は実習する。
0:41:27	この実働正面衝突、飛来物の衝突に対する
0:41:32	国の方針、
0:41:39	セイヒョーに戻っていただきます。
0:41:42	No.12 番。
0:41:45	衝突解析について解析に用いたコード名及び解析書を示した上で、本省及び 可動支承部のモデル化方法源泉取扱等の条件の詳細整理して説明するこ と。
0:42:02	図 1-37 ページ目に記載を、
0:42:06	追記してございますけど、黄色でハッチングした点について追記してございま す。
0:42:12	じゃあ、
0:42:13	記載の通りでございます。
0:42:17	配当線表
0:42:21	飛来物衝突位置、
0:42:23	ごめん。
0:42:24	変形速度履歴を行って、
0:42:27	補正は大きくなる。
0:42:29	では、
0:42:32	。
0:42:36	ございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:37	こちらは 40 ページ
0:42:45	2、
0:42:55	本冊は記載の通りでございますが、ナンバー1 からNo.3 で実効性を 100 倍変えても、
0:43:06	はい。
0:43:08	そして、
0:43:11	どうぞ。
0:43:14	議論としてはこの
0:43:16	No.
0:43:19	実際、
0:43:21	で、飛来物。
0:43:23	使って、
0:43:24	でしょ。
0:43:26	最大影響としましては、いずれも小さかった。
0:43:37	いえ。
0:43:43	続きまして、
0:43:46	配当整理表の 14 / ゴム支承の
0:43:50	やっぱり 5000 速度依存性な試験結果について、
0:43:54	大きく上回ってるがそのため、
0:43:59	こちらは
0:44:04	スペースの 49 ページ。
0:44:06	2、
0:44:10	の結果、それから、整定
0:44:13	軸引っ張り剛性確認試験の
0:44:15	こちら、
0:44:17	二つの試験について、
0:44:19	図を今回、
0:44:23	こちらも記載の通りではございますが、
0:44:28	多分物件も踏まえまして、引っ張り側では、加速度依存性
0:44:35	アコム本来の特性、
0:44:47	回答整理表を続きまして 15 番、それから 16 番打ち合わせて回答させていただきますが、
0:44:55	まず、15 パーツ指摘するとしている竜巻防護ネットストッパーについて可決とバーの位置付け、
0:45:04	消防隊させ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:06	はい。
0:45:08	それから 16 番として設置変更許可の審査からの変更点について、竜巻防護 ネットの支持部材の
0:45:17	構造変更泊より
0:45:20	で、
0:45:21	説明資料の 18 ページをご覧ください。
0:45:26	図 1 の
0:45:29	8 ページ。
0:45:31	じゃ 4 ポツで、詳細設計段階において、
0:45:38	ポツでは、設置許可段階、
0:45:40	説明
0:45:43	こちら 18 ページ。
0:45:49	-1
0:45:53	これを
0:45:57	以上で御説明
0:45:59	概要版の比較表の内容と重複して、
0:46:06	-2
0:46:08	今回のヒアリング
0:46:10	そう、資料の各ページ、
0:46:14	了解。
0:46:15	色ハッチング
0:46:17	じゃあ、
0:46:18	内容は前回から変わってはございません。
0:46:24	21 ページ
0:46:25	2、
0:46:26	いまして、
0:46:32	(3) 番という形で設置許可段階の設計方針との比較をまとめてございます
0:46:39	まず、なお書き表 4-3 のなお書きのところに記載の通り、
0:46:45	失礼します。風と。
0:46:48	について別紙 5 に示すと。
0:46:50	対応づけて、
0:46:53	こちらのページ以降はですね、
0:46:56	資料 1-5 の比較表。
0:46:59	のうち、竜巻のまとめ資料部分の比較表。
0:47:03	同じものをつけて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:06	はい。
0:47:08	4の補足説明
0:47:10	そう。
0:47:28	11ページ。
0:47:29	表4-3-1した注記の2番ということで、
0:47:34	はい。
0:47:37	をいたしました。
0:47:41	で、
0:47:44	24ページ
0:47:46	何。
0:47:47	また段階。
0:47:52	防護ね。
0:47:54	評価方針。
0:47:57	先ほど庁の評価方針を整理してございます。
0:48:01	内容につきましては記載の通りですので説明は割愛さ。
0:48:07	以上ですね強度関係の指摘事項。
0:48:14	どうぞ。
0:48:15	それで、
0:48:16	資料1-15ページ目以降はですね、記載の適正化ということで、適正化させていただいた内容を記載してございますので、
0:48:27	こちらは説明は、
0:48:31	長くなりましたが、
0:48:34	はい。
0:48:35	ずっとじゃあ今のところで、ちょっと私が先に
0:48:41	なかなか
0:48:43	4-1-6ページ。
0:48:46	飛来物の衝突に対する影響ところで、
0:48:55	図の6-6に示す通り、真ん中から下に、
0:48:59	だから、今日現象という中であって、
0:49:03	法務省に対しては市場の配置上手法の設置位置的にはと衝突中心が終わらないことによりってということでさっき説明されたけど、
0:49:11	下に図を見ると、赤いところに、
0:49:15	園芸赤いのが多いのがあるんだけど。
0:49:18	少し説明がどれが中心でどれが保安わからない。
0:49:24	この文章の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:27	炉心位置が尾根の波を入れて、
0:49:30	東北電力さんがですね。
0:49:32	発電本部支障に対しては、中心合わないことによりというのは、図 6-6 の左側の赤い赤く記載しているところでございます。
0:49:44	さて、縦の 8000 円。
0:49:46	示しているのが、飛来物の中心とそれからCOM支障の中心縦に線 2 本ございますそれぞれ示してございまして、それが連れていると。
0:49:59	よれてるのはこの中に点線が同無償の各種申請ではこっちにある短い線がアベ飛来物の抽出、はい。
0:50:10	ちょっと具体的に入っていただくと。
0:50:14	ここで言われてることが、要はその中心がそれぞれ塾っていうかあれが違うかなということを言われているんですね、ハード首相の方はお一方、
0:50:26	ネット一緒なんですけど、これ一緒だっていうことで、そうですね、はい、青いほうは飛来物の長辺の中心と可動支承の中心なチェックが同じであると思いません。
0:50:39	この図の 6-6-1 下でもいいのでは防災を書き換えてもらって、WEB詳細ビル所在その今言われてるもの。
0:50:49	中心が違うってことはないように理解しちゃったけど、この絵だとそれがちょっと理解できないので、
0:50:55	少しちょっとよく整理していただければ。
0:51:14	特に本当一、二十次STEPと話を言われていたんです。
0:51:24	その通りの
0:51:28	最後のストッパー近接ストッパー設置外部事象防護対象設備の波及的な風については、
0:51:37	するっていうのは、
0:51:40	そういう
0:51:41	以上です。なんか資料後ろにつくんでしょうか。
0:51:48	東北電力の佐まずまずちょっとパーツの評価を実施してすいません。
0:51:53	閉としてお示しする必要があるかなというふうには考えてございます。
0:52:00	やはり今の
0:52:04	コメントの
0:52:09	はい。
0:52:12	15 のところの
0:52:15	事業を与えないことを御説明するということ。
0:52:20	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:21	帽子を更新がこれになってて詳細は今後、
0:52:27	改めて説明するという。
0:52:29	そうそう。
0:52:30	回答にそれを変えていった考え
0:52:34	これ困ったふうに見えるので、
0:52:37	今回のクローズドするやつとしないやつというマーケット以东わかりましたの内容はわかっています。
0:52:48	私の思いです。
0:52:52	何かあります。
0:52:55	はい。
0:53:11	規制庁大柿です。
0:53:14	資料 1-2。
0:53:23	ページ。
0:53:30	-3 の注記の 2。
0:53:34	続いてたんですけど、僕言ったに関しては、
0:53:40	支持部材歌手全体であることから、支持部材の
0:53:46	強度評価に包含される。
0:53:50	そういう説明で先ほど説明していただきたいというふうに
0:53:57	はい。
0:54:01	資料 1-4 社。
0:54:05	4、
0:54:07	Pointの関係すると。
0:54:19	文章の
0:54:21	また、
0:54:27	ページの支持部材の交付等評価に包含されるという意味は、
0:54:35	この強度計算書、例えばポインターの計算はしないけれども、
0:54:43	ここの支持部の評価で
0:54:46	代替するというか、
0:54:49	ここの
0:54:56	東北電力ザマです。
0:54:57	どうぞ。
0:55:00	ページ目の表のところで 5 番の間衝突評価観察評価というところにつきましては、PRA式で完成しない限界厚さを
0:55:12	満足するというので、衝突評価を実施するというものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:17	そう強度評価として、例えば飛来物の衝突させて、調達解析をするとかっていうところは、まず貫通しないところがPRA式で確認してございますので、支持部材の構造強度評価の中で、
0:55:35	今の取りつけとか、そういったところが破断しないとかっていうところは一部確認できるというふうに考えてございます。
0:55:45	6 ページの表の星取表会議は母岩については、飛来物による衝撃荷重って、
0:55:54	まずマツイってでも施設側のほうはもっと強度のところに来るか。
0:56:03	続いてですね。
0:56:08	一旦に関しては貫通しない。
0:56:13	そういう
0:56:15	評価関係で、それ自体をどう評価は不要だってところがっていう
0:56:22	前回の
0:56:24	つまりかもしれない。
0:56:28	うん。
0:56:33	中にですけど。
0:56:35	教訓、
0:56:37	共同交通強度評価をやれば 5 番の構造強度評価はしなくてもいい。
0:56:47	はい。
0:56:51	僕の自体の構造強度評価は不要である。
0:56:56	電力の安定ですけども、ここで書かさせていただいた意味合いとしては一番については、先ほどございましたけども、
0:57:06	ですね。
0:57:08	TRMすればまずは貫通しないぐらいの見解でかなり暑い
0:57:14	32 と。
0:57:16	ルートというものは維持されるということで、そのカウントしなければこのポンプ自体の構造が小さい
0:57:25	こういうことなので、案という意味では、この植物片、
0:57:30	ますれば、
0:57:32	発注といったものと評価としては、
0:57:41	うん。
0:57:43	はい。
0:57:44	評価されるってというのは、支持部材にとりついていきますので、そちらのほうで提示いただいたりすること。
0:57:52	県立大学にやっていますので、
0:57:54	こちらでやっている中に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:58	はい。
0:58:00	もう
0:58:03	そういう意味で記載して、
0:58:08	報告は規制庁さん僕版も例えば取付部の
0:58:14	指針の方。
0:58:17	貫通といったは貫通しなくても、
0:58:20	活用によって僕取り取り付けが積極的に
0:58:26	ってというのは、
0:58:28	そういう評価は、
0:58:32	遊ぶ電力さんが
0:58:35	はい。
0:58:46	ギター近傍の
0:58:48	はい。
0:58:49	で、
0:58:52	保護盤取り付け器具のデモ等ですか、そういったところってというのは、特に留意な
0:59:03	そう。
0:59:06	資料の結構見て取れており、
0:59:11	&構造強度評価ってというのは、
0:59:21	規制庁立案も今律速か回答ですか、それがよく今の資料になってる
0:59:28	要は取り付け、
0:59:30	でも、
0:59:33	監視、
0:59:36	ただ、
0:59:39	職員、
0:59:41	はい。
0:59:42	この補足資料見てもちょっとおつ関数の今年か。
0:59:48	なし。
0:59:52	はい。
0:59:56	はい。
0:59:57	各電力さんです。はい。記載の追加。
1:00:05	はい。
1:00:07	僕、
1:00:08	そのパブコメという事象は考えていただくという。
1:00:12	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:14	図があった東北電力さんの飛来物が防護が直接
1:00:19	この貫通しないっていうのはPRA地域で、いわゆる自分確認。
1:00:28	お願いします。
1:00:31	もちろん、
1:00:32	確認をしていきたいんですが、
1:00:35	私の理解は防護IT当たった。
1:00:38	それはBR式で関数だけをチェックし、
1:00:44	については、5番目に当たった状態というのは沈むあいとっており、
1:00:50	だから防護版の
1:00:52	貫通だけをチェックしてますっていう
1:00:55	理解したんですかそういう
1:01:00	あとはウエキが言ってるように、じゃあ、防護版が僕はここに当たったときに、防護場そのものが支持部材の接合部がおかしくならないんですよっていうのはもう一つ説明をしておかないといけないと。
1:01:15	その辺を含めた説明を加えていただきます。
1:01:18	はい。
1:01:19	東北電力さんがご指摘
1:01:31	はい。
1:01:33	規制庁、谷口です。
1:01:40	今質問していないですか。どうぞ。
1:01:43	はい。それ今、
1:01:46	評価と口頭の協定書別々で両方やらなくちゃいけないっていう趣旨だと思います。
1:01:54	それで、今、話の中で出てきた貫通を貫通防護評価の件については、今回いただいているような7の資料で、APRM式浮いてPR式にあって、
1:02:10	返却説明をされてるんだと思いますが、そういう趣旨ですよ。
1:02:16	東北電力様です。はい。
1:02:18	御説明いただいた通りのあそこ認識の通りでございます。
1:02:23	それで、私の方からコメントをさせていただきたいところは、今の英語版の貫通の貫通部の貫通評価に関しての件ですけれども、結局PRA利子切れて確認している。
1:02:39	ということとした場合、今回の該当しない状況の中で、結局、2辺根底になっているような場所でPRAの意識を撤去していいのかっていうことが公開の趣旨として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:56	今の1の資料の4番目のところで確認をお願いしている部分という認識にあります。
1:03:06	それで、今、こちらとしてはLPRM式というのはやって固定なイメージじゃないかと感じていて、今回のこととして、後半で手順固定でやること。
1:03:21	なってるところ、それを適用することがいいのかっていくとっていて、具体的な説明をこの4-7で説明していただいているというふうに思ってるんですけども、その辺について、この表の中で、
1:03:37	協定上の表の3-1のページ数で言うと44発中の4ページ。
1:03:46	いや、スポーツなどの資料の7の中房表の3-1の確認結果って書いてあるんですけど。
1:03:54	ですけども、
1:03:55	これについて、2編、2編、ホテルでやる。結びついて固定概念のPRA試験評価ができると書いてあるんですけども、この辺についてちょっと説明をもうちょっとしていただけないでしょうか。
1:04:14	僕電力ザマです。
1:04:15	どうさしませコメント等、
1:04:19	の4番のところは、まさに今御説明いただいた通りで、資料4ポツ7として今回準備させていただいたのは、貫通評価やれる式の適用というところでございます。
1:04:34	ほどありました4ページ目の表3-1の中段その他支持条件っていうところでですけども、
1:04:42	既往の基礎のPR式を
1:04:46	いろんな飛来物の衝突に対してどういうふうに適用していけるかというところにつきましては、これまで文献等にまとめられているものがございます。その中で、この4点固定で試験とか、
1:05:01	実機試験やられてるものもございますが、その地域に現工程でやってるものもございまして、それらの結果を見ると、結果としては四辺固定のほうが厳しい結果である。
1:05:20	竜巻防護ね。
1:05:22	2件予定してございますが、じゃあについても、
1:05:31	についてはわかりましたが、イメージとして日当企業の文献で確認したと書いてあるところについて、具体的に既往の文献を取り入れが委員をした文献中ということに記載をしておいてください。
1:05:49	以上です。
1:05:52	東北電力さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:56	よろしくお願いします。
1:05:57	他も全部おっしゃるのは当たりをつけてあとは、
1:06:01	大丈夫でしょうか。はい、そうはいはい。
1:06:04	どうぞ。
1:06:06	どうぞ。
1:06:08	のご指摘でありましたが、部下のところも含め、
1:06:16	事案の対応がわかるようにしたいと思います。
1:06:21	お願いします。
1:06:23	ニシザワ
1:06:28	規制庁のヤマウラです。1-2の資料でお伺いしたいんですけども、
1:06:37	ページ 2.4 ページの一番上の 2.1 式というのがあるんですけども、
1:06:44	これは 8 ページの図の
1:06:48	戦後表しの式なんですけど。
1:06:51	もう
1:06:52	10 億円。
1:06:55	球菌っていう仕組みは基本的にはもうゼロからDワンマンまでの間の式だと思うんですけども。
1:07:04	基準から 2Pd 湾の間は、事務局からは関係ないということでしょうか。
1:07:12	東北電力さんが最初の衝撃荷重が最大となるところで評価してございますので、その通りでございます。
1:07:22	それでこの 2.1 式等からですね 100 結局一番下の 2.66 とか、次のページの 1 から 8 で、荷重を出すんですけども、このときに使うモデルザーツというのが、
1:07:42	利用のときの全体なのか。
1:07:46	PARのときの設定でスタートなのかというのがちょっとよくわからなくて、要は 2.1 敷地の過程等、
1:07:55	この設備フィルターの一般性は飛ばされて随分でしょうかっていうのをちょっと伺いたいんですけども。
1:08:04	すみません、もう一度説明して
1:08:10	8 っていう時のずれちょっとお伺いしますが、荷重がPRで再度になって、2 番でゼロになるという荷重を確定してますけども、
1:08:23	2.1 の式っていうのは議論までの式しかなくなっていないということはもうフィルターというのはどのような仮定でガスの括弧の 2. 事案の時載せてるデータになっているのか、PRなんて言わ基づきモデルだとかっていうのをちょっと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:41	家庭遠くの実際にやってることとの関係の一貫性があるというのはちょっと確認したいんですけど。
1:08:51	はい、電力さん待つと。
1:08:53	はい。的に飛来物が補足下げ止まるまでっていうところで評価しておりますので、
1:09:04	モデルと算出にあたってはet湾までに
1:09:09	いや、ですから止まるまでっていうところで評価をさせていただきます。
1:09:14	これは組成変形みたいなものを考えてるんでしょうか。
1:09:19	はい、6 電力さんがおっしゃる通り、すいませんちょっと 2.11 式全部展開してって、
1:09:28	もうこの式に Δ を入れるんですけどモデルだわにPR目的の全部た。
1:09:35	を使っているんで、ちょっと一貫性が私としてはちょっと理解できないので、
1:09:42	別途、
1:09:45	出るかどうか、この 2.11 地震との関係を
1:09:50	説明していただけないでしょうか。
1:09:57	電中研の
1:10:01	うん。
1:10:02	じゃあ、電中研であろう流してるんだったらそれをちょっと説明
1:10:07	だけど、電力のアベで少し今おっしゃられたような内容をちょっと確認して、
1:10:14	はい。
1:10:15	それであればいただきたいな。
1:10:18	わかりいただきたいな。
1:10:20	よろしくお願いします。あと一つはちょっと記載だけではないかといっていないんで申し訳ないんですが、1.3 の
1:10:30	ですから、これが開始され次第です。はい、わかりません。私から以上です。
1:10:38	どうぞ。
1:10:39	はい。
1:10:46	すみません、規制庁のトイレどう今までとヤマウラからお話のあった資料 1-2-9 ページ、8 ページ 9 ページの全壊率は 8 ページにあるこの物理モデルわからないけれども教えてくださいっていうことであるよう追加する形で
1:11:05	非常にわかりやすくなったんですが、相川義務があるようがないってこと一緒に、もう
1:11:13	この物理モデルって、
1:11:15	ちゃんとずれとかっていうのがすごく気になって、
1:11:18	単純にですね、これ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:21	地下のフロアって断水BKして、最大の計画達成すればエネルギーと荷重の関係で、
1:11:30	10 ページに書いてある 2.8 ではなくてっていうふう=2 番のルーター部分のエネルギー、要するに、
1:11:39	2 分の 1 契約四条以降のエネルギーっていう、
1:11:43	一番きずな時にエネルギーが
1:11:47	全部完璧にそうすると経路X=Fですから、2 分の 1FXとかが出るんですね、2 分の 1Fホテル代公費粒子って、
1:11:59	この 2.8 切ってF=
1:12:02	2 番目のフィルタ部の
1:12:05	になる気がするんですけど、それから確か 2.8 で安全側になってるからいっちゃいんでしょけど、ここの考え方が、
1:12:16	何かよくわからなくて、
1:12:18	これはヤマウラが入ったと同じなんですけども、いずれにしろ、説明していただければと思います。
1:12:26	私も、
1:12:30	はい。
1:12:31	権力のあるんですけども。
1:12:34	全中県で使われている事業そのものは変わらないかもしれないんですけど、中身をよく理解されてそれで 5 日とか、
1:12:43	はい。
1:12:46	燃料、
1:12:50	5000
1:12:50	使ってる。
1:12:52	はい。
1:12:53	はい。
1:12:54	わかりやすいのかと理解できるように、
1:13:12	規制庁の三浦です。
1:13:14	ちょっと今の強度の部分が幾つか確認をさせてください。
1:13:19	うん。
1:13:22	資料 1-4 の
1:13:24	4-1-41 ページ。
1:13:28	なんですけど、
1:13:32	ここで先ほど前ページで放出量ホームゴムの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:38	協力鉛直構成をいろいろ会議規定加速度ゴム支承連結部分、環境局になるんだという御説明を加えていただいたんですが、ここで一つ教えていただきたいのは、例えば、
1:13:54	鉛直合成で非常に高い場合ってというのは、
1:13:56	綺麗にゴム支承の最大
1:14:00	貯留アップを圧縮部の値ってのはほとんど連結部変わらないですよ。
1:14:05	ナンバーワンとか、ナンバーツーとか、現状構成は小さくとってくると。
1:14:12	現地鉛直圧縮後やっぱり速度変わってくるんですけど、これはたかどうという理由なのか教えていただきます。
1:14:28	東北電力ザマです。
1:14:33	おそらく法務省の弁にフレームが出ますのではあります圧縮のほうはそのフレームがこうでかかって、引っ張り側は逆に座っているが、
1:14:45	あるので、やっぱり側の速度はそこまで
1:14:50	ないんじゃないかなっていうふうには思っています。
1:14:53	うん。
1:14:57	うん。
1:14:59	これはだから、今の鉛直剛性が大きいと。逆に言うとそのプルームの影響が小さくなっちゃうって理解でいいですか。だからゴム、現状構成だけが、そのこの部署の一応構成だけに依存するんで、ほとんど
1:15:14	引っ張りが正しくは変わらないけれども、
1:15:16	閉園徐行する小さくなっちゃうと、
1:15:20	今言ったフレーム国籍寄与してくるので。
1:15:24	圧縮側になってきながら引っ張り側を小さくなるという理解。
1:15:31	です。
1:15:34	図もちょっと考察したいと思います。
1:15:37	今のことについて、
1:15:39	いい気がするんです。
1:15:43	そうですね。
1:15:47	4-1-4-8 ページですけど。
1:15:53	このような
1:15:55	自分のところの 18 に一定速度依存性試験結果っていう言い方
1:16:01	赤で示されている右側ですね、引っ張り剛性のところで赤で示されている静的試験結果が別途引っ張り剛性 200 ぐらいあんな駆動
1:16:13	青で示されているそこぞ依存するの確認結果っていうのが 1400 ぐらいする。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:20	ここにすごくギャップがあって、左の圧縮合成で見れば、これは静的試験の結果、もうあと速度移動正式の結果もほとんど変わらない。
1:16:31	で、
1:16:32	これがどういう理由ですか、特に一般の窓口になったんですけど、引張座席試験結果そこで同数結果のギャップですね、多いんで、なぜですかというお話だったんですが、ちょっと今日御説明いただいた内容ではその部分が十分に理解できなかった。
1:16:50	うんですが、もう一度この部分を説明していただきます。
1:16:54	電力さんですと48ページ目、黄色でハッチングしたところですけども、
1:17:00	まず、やっぱの一つ目としまして、一般に公明単体として見た場合に材料として見た場合にですね。
1:17:09	どう頑張って弾性材料でございますので、波速度依存性ですか、
1:17:16	あと圧縮側に対して引張側の統制が低いというような
1:17:24	傾向にあるというのは、文献とかでまとまっておりますので、
1:17:30	事象構造体として見た場合に圧縮が引張側っていうところはなかなか更新試験とかやってやったようなものです。
1:17:39	つけられていないんですけども、今回換気静的に引張試験をやった。
1:17:46	次に、引張側がやっぱり圧縮と違って大きく剛性が低いところについては、やっぱり同じように今後のゴムそのものの性質がゆっくり引っ張りをするところですので、この本来の提出がこむこむ支障の引張においても、
1:18:03	現れたというふうに考えてございます。
1:18:07	こちらが48ページの矢羽の
1:18:10	一つ、二つ目の内容でございます。
1:18:13	またということで矢羽の三つ目ですけども、鉛直剛性を算出する際には、一時形状を形成した場合の
1:18:23	27ページに式は書いてございますが、知事形状係数を持って算出するというようなものでございますが、時形状係数というのは、5名一層当たりの拘束面積、それから、高密度あたりの治癒面積を比率を
1:18:42	表してるものでして、
1:18:44	カゴメの拘束による影響っていうのは定性的に評価するような支障指標になってございます。
1:18:53	きっちり形状係数が小さい場合には、
1:18:58	公務の法則面積に対して自由面積が大きいというようなところでございますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:06	巻き込む本来の性質が表れやすいのではないかなというふうに考えております。
1:19:12	4 ポツ 1 の 49 ページ目に図の中 9 というのも設定ございますが、
1:19:19	こちら側の振動数特性を整理した図ではございますが、1 次形状係数が小さい場合には、
1:19:30	小さいことですね、鉛直剛性、
1:19:34	鉛直剛性変化率というのも大きくなるということが見てとれますので、
1:19:41	今回の竜巻防護ネットのゴム支承の知事形状係数というのは、
1:19:49	これ、これがよりは大きいので圧縮側では速度依存設置のは、今回の条件では発電はしなかった。一方で引張側、ももとの構成が低いですので、この一次形状ケースっていうのも値としては、
1:20:04	変わらないんですけど、実態としては、今後の方向性が低い側の特性っていうのを表しているというふうに考えますので、
1:20:15	そこで速度依存性というのがやっぱり側については現れたんだろうというふうに考えてございます。
1:20:23	規制庁の三浦です。
1:20:25	今、
1:20:27	一番右側で御説明いただいたことっていうのは、
1:20:31	図 5-18 で見ていたときに、
1:20:36	左側の赤と右側の赤、
1:20:39	これがきらない数字が違うのは、その十分理解しています。
1:20:44	で、
1:20:45	そう、引張側のほうが速度依存性が高いっていうのも理解します。
1:20:51	でも、このギャップっていうのは、右側のね。
1:20:54	静的等ソフト機能性の確認試験結果の
1:21:00	数値のキャップっていうのは、これは何かあるんです。
1:21:05	何か同じような試験になるんですか。
1:21:09	ちょっとSPEEDIの物理的にも理解できるんです。
1:21:13	数的にあった場合、7 割ぐらい。
1:21:20	というのは、
1:21:24	圧縮剛性と同じぐらいの数字が出てるんですね。
1:21:28	そういうものなんですか。
1:21:31	はい。
1:21:32	電力さんとして沼津市は当然試験としては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:39	もし知見そのものに不備とかっていうのはないと考えてございますので、ゴム支承の弱引張側の速度依存性試験みたいなところはやっぱりちょっと
1:21:51	文献だったり、類似の研究されてるってところが、
1:21:57	つけられておりませんで、海であって、今公務そのものの特性によって、加速度依存性が出たのではないかという記載をさせていただいておりますが、今ほとんど皆さんおっしゃるように、この6倍7倍近い。
1:22:14	そこまで大きくなる。それを定量的な、これぐらいで言ったみたいのところまでは、
1:22:22	ちょっと、
1:22:23	育つ難しいかなというふうになんかちょっと私自身がちょっと気になったのは、
1:22:34	やっぱり剛性が小さいものでございますので、今言ってたように、
1:22:38	そんな整備の試験等のCM級でこんなホウ素生まれるっていうのは何か式のほうに、例えばそういう事情があるのかな。
1:22:50	ですよ。
1:22:53	付随的にちょっと考えにくいっていうか、
1:22:58	うん。
1:23:02	そのためです。
1:23:04	今回の試験もですね、ここにいろいろブロックはしてますけども、アスペリティ
1:23:09	いろんな千葉です。
1:23:16	皆さんおっしゃるようにいろいろメカニズムとして、詳細に今本当かって。
1:23:23	はなかなか難しいところがあると。
1:23:25	そういう傾向が見られている。
1:23:28	踏まえてですね、の竜巻防護ネットのこの報告書の設計としてはそういうばらつきを持ってやって、
1:23:38	で考えてございますので、
1:23:41	そのメカニズムをなかなか頭の
1:23:44	はい。
1:23:46	非常に
1:23:48	ホンダところは、水に当たってないんですけども。
1:23:52	設計としてはそういう不確かさを持って取り組んでやってるんです。
1:23:57	今我々は示せる。
1:24:00	はい。
1:24:03	この引っ張り剛性が規制庁の水野です。この一般に音声をそこに移動する考えたことが設計です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:16	東北電力さんと本部の構成のばらつきという観点で言いますと、今鉄塔設計値東京SHO-BIの設計値に対して、
1:24:27	2倍ほどのばらつきという形でとってますけれども、
1:24:32	この竜巻防護ネットの
1:24:35	耐震と共同評価という観点では賠杯ぐらい取った範囲では起きていないかなっていうふうに考えております。
1:24:46	今、
1:24:48	ソフトと言われたように、私、自分で指摘しておきながらこれ多分なかなかこういう試験ではないので、その物理的に説明するのは難しいかなと思った。
1:24:59	ですので、
1:25:01	じゃあこれはある程度引張法制度もしも
1:25:06	ご指摘たとしても設計的にはカバーできると。
1:25:09	最終的には設計星さん御質問の中でどういうしかないかなっていうふうに思ったんですが、それを何か言えます。
1:25:20	東北電力様です。その試験を踏まえた構成の設定というところは、次の51ページのところ、
1:25:33	表としてまとめてございます。最終的にプラス側、1700 マイナス側 42.7 というところで、何でここにはその速度依存性支店の結果も踏まえて、向性が高い側、
1:25:48	依存性試験も含めた高い値を
1:25:52	いうところで、設計として考慮してございます。
1:25:58	だから、これで規制庁の南ですけど、変換率として圧縮動作高いことが非常に低いまで全部でブロックされているので、設計的にはこれで多分大丈夫なんですね、その願いは、
1:26:13	今の話で、まとめとして、
1:26:17	こういうふうな差異があるんでその部分に不確定性はあるのかもしれないけど、設計的にはカバーその構成のバランスみたいなものは十分にカバーできていて、
1:26:27	ていうようなことで、
1:26:29	結論を少し付け加えていただくことができますか。
1:26:34	はい。
1:26:35	今おっしゃられた内容、
1:26:37	です。
1:26:41	はい、すいません。
1:26:42	規制庁、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:44	これらの確認です。先ほども御説明なかったんですが、4-1の71ページ。
1:26:53	はい。
1:26:55	ですが、ここでバックアップ係数についていうので。
1:26:59	職員も衝突の不確かさをやりますっていう
1:27:04	この会議の資料の中には、この不確かケースっていうのは、結果は入っていないという理解です。全部入ってるんです。
1:27:15	東北電力端末と結果はですね、1ベースに
1:27:19	前段の構造成立性のところに位置では入ってございますが、前全部という意味では、今回の資料には入ってるんですね、決算書今別途取りまとめておりますが、それを取りまとめと並行して、
1:27:35	この不確かケースの結果も今整理した中でございますので、計算書と合わせてですね、この不確かさの結果についても同じタイミングで御説明できると思っております。わかりました。一応今私自身の
1:27:51	例えばクリティカルなんですけど、大体、
1:27:53	今回不確かさをやってもその構造成立性って目ではほとんど数値の変化はあまりないだろうっていう見通しのもとで、後で付則的な資料として説明していただけるという理解でよろしいですか。
1:28:07	東北電力さんがそのような形で考えてございます。
1:28:12	以上です。
1:28:14	です。
1:28:16	いや、この説明をお願いします。
1:28:23	はい、東北電力ナラダテです。
1:28:26	それでは本日の資料1-1の回答整理表と資料1-3の所則650に耐震設計策説明資料ですねこちら二つを使って御説明残させていただきます。まず資料1-1の回答整理表の1ページ目の名前、
1:28:46	2番目ですね、2行目の申し送り事項でございますが、こちらはですね、海水ポンプ室の地震応答について不確かケースがございますのでそういったところも確認してくださいという趣旨の目コメントでございます。それでは資料1-3のほうで説明させていただきますと資料1-3もし、
1:29:05	うんと3ページで14ページをご覧ください。
1:29:14	今回14ページにですねと設計を床応答スペクトルでということでスペクトルを示させていただきました。これまではですね基本ケースとか不確かケースがすべて崩落した設計条件というものではまだできていなかったもので、これが基本検査結果を載せてたりしてたんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:32	今回はですね、基本ケースと不確かさケースを包絡した形の設計条件で評価を実施してございますので今回図中にですね黒線で7は包絡条件とスペクトルを記載してございます。今回はこの黒い系統な崩落の条件を使って評価を実施してございます。
1:29:51	それぞれ横断面と重断面で次の15ページにと鉛直方向のスペクトルということでこの3種類のスペクトルを使った評価を実施しました結果をまとめているのが下ページ43ページでございます。
1:30:09	こちら第4-1表というふうに書いてございますがこちらの評価結果をですね前回示したのから意識内容は変わっておりまして先ほどの包絡Kと曲線包絡スペクトル曲線を使って当評価をした結果になってございます。
1:30:26	いずれもですね裕度は1を上回っておりまして最小の裕度で、数がフレームのシゲタですね、こちらが裕度1.46ということで最初の裕度でも十分な裕度を持った設計になっているということでこの成立性は十分にも確認できているかなというふうに思っております。
1:30:44	はい。まず最初の申し送りへの回答は以上でございます。続きまして資料1-1、三瓶使命をご覧ください。
1:30:53	コメントNo.6からですね、ここから9までが耐震関係のコメントでございますがまずNo.5でございます。ええと竜巻防護ネット等の解析モデルの設定について稼動処分ですね。
1:31:10	特に今年の部分でございますが首相のところの回転方向拘束条件がどうなっているのか説明してくださいということでございました。
1:31:19	こちら資料1-3で回答させていただきます。
1:31:25	はい。とですね。
1:31:29	松尾本部の下のページで18ページをご覧ください。
1:31:37	8ページにもともと戻り図を書いてございますがこの江藤モデル図の下のところにはばね支持条件ということでゴム支承と可動支承のえと並進方向の拘束条件南西ですとかこうでしたっていう字書いてたんですが、ここに*注記を振りまして回転拘束の考え方について、
1:31:57	死傷部分はいずれも操作方法を自由にしますというふうな記載をさせていただきました。詳細は添付資料6のほうで説明させていただきますので、添付ブロックのまず3ページですね、添付6-3ページをご覧ください。
1:32:14	添付6につきましては、ゴム支承と可動支承の設計の考え方の詳細を書いていると添付資料になってございますがそこにまず添付6-3はゴム支承のモデル化の説明が1ポツに戻るということに書いてございます。ここになお書きを加えましてゴム支承の回転拘束について説明を追記しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:34	結論としましては、主事象は、いずれの方向も改定につきましてもゴムの変形で追従する形になりますので、隻の考え方としてはフリーの考え方になっているということでございます。これ回転剛性を当然入れることがテーマに入れることも可能ですが構造材の剛性等の剛性非常に
1:32:54	差があるので、この音声入れたところでほぼ結果に影響はないというふうにごえまして設計日本は不利というふうにしてございます。
1:33:03	続きまして可動支承の回転方向拘束の考え方ですけど、ちょっと説明が必要図等を用いた説明が必要ということで添付 6 に別紙を今回つけさせていただきます添付 6-40 ページをご覧ください。
1:33:19	はい。
1:33:24	添付 6-40 ページに別紙ということで可動支承の回転を拘束条件の設定についてという資料をつけさせていただきました。最初のその 40 ページに別室位置としてまた断面図を書いてございますが、この断面図で見るところもですね①番、①が滑り剤となっていて、
1:33:44	委員長は挟んで頂部構造と下部構造になっているんですが、下部構造の③です、③というところ。
1:33:52	が圧縮 5 分というふうになってございます。この圧縮ゴムが上部構造の荷重を鉛直方向パネルを支えているという構造になってございます。
1:34:02	はい。
1:34:03	当庁検定としまして次の 41 ページをご覧ください。
1:34:09	どこの位置に戻し／縮ゴムが入ってございますので、水平のX軸とY軸ですね、水平軸方向のねと回転
1:34:19	なので、状構造がこう傾いたりするような動きになりますが、そちらについてはすべてこの圧縮語句が変形を請負うとかという形になりますので先ほどのゴム支承と同様ですね、この会、ゴムの弾性変形で回転高校の
1:34:34	移動は追従するという形になりますので、X軸Y軸周りはフリーという考え方でございます。ちなみに下別紙図 3 にスピーカーの図での形状がわかりやすいものを示してございますので、こちらも確認ください。
1:34:51	続いて 42 ページの(2)のところにはZ軸周りですね、鉛直軸周りの回転について記載してございますが、別紙図 4 に示す通り、ベイズスポットエンドプレートというものがございまして、こちらのエポ形状のものでございまして、
1:35:06	こちらが一体ものになっているんですがこのA棟置いたものになってるベースというプレートというのにかえと回転方向が自由に公開的にできる系統条件になってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:19	それではですねちょっと戻る訳のぼ少しあれなので、少し戻っていただき添付 6-30 ページをご覧ください。
1:35:31	添付 6-30 ページの右上の左上のほうがいいかもしれません左上の断面図をご覧ください。ここに⑫の課題として、ベースプレートというものがございしますが、このベースプレートが先ほどのベイズとととエンドプレートの浅部ですねここ
1:35:50	押さえ込むようなカバーになっているということで、この 12 番が抑え込んでいますけれども、ちょっとボルトや溶接等で接合しているわけではないので、ここは回転方向に対してきつく同土摩擦件数による
1:36:06	回転挙動は土地利用することになってきたということでございます。したがって
1:36:13	42 ページに戻っていただきますがここに示している通りZ軸周りの改定についてのフリーという設定にしております。
1:36:22	はい。
1:36:23	先ほど 42 ページの下へと 2 ポツのところですが、前方向フリーということにしておりますのでそれがもとにといった影響になっているかというのを代表的なものを示して御説明させていただきます。別紙通行にはですね全体の重要時もですね。
1:36:39	あるフレームの鉛直z方向の一次モードを示しておりますのでここで、両サイドのフレームが上下方向にたわんでいる形になりますが、右下というんですかね。稼働書の設定がございしますが、ここを挟んでクレームが全体的に滑らかに変形している要素はわかるかと思えます。
1:36:59	ここ回転拘束条件に入れますと、こちら辺の変形が拘束されて張り出している部分の影響も小さくなるはずですのでこういったところに回転フリーの影響が出ているというふうに考えてございます。
1:37:12	まずナンバー5 の回答以上でございます。続いてナンバー6 の回答でございますと/6 のコメントは、ゴム支承採用理由について眼圧と整合性の関係について整理してくださいと言う内容でございました。
1:37:28	こちらは資料 1-3-添付 1-4 ページをご覧ください。
1:37:37	添付 1-4 ページ記録全体的にハッチングされていますが、もともとの説明があったんですけど、少しずつと書いていたので少しわかりづらかったということでございましたので、今回箇条書き日程再整理させていただきました。
1:37:51	大きく分けて移動量と使用環境及び使用条件とせん断剛性の適用性という三つの項目において建築用語のショート道路橋梁ゴム支承を比較してどちらを採用すべきかという考え方を整理させていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:07	まず移動量でございますが、今回竜巻防護ネットは既設の海水ポンプ室受、
1:38:15	東り、
1:38:17	今あるところに設置するという兼ね合いからクリアランスの制限がもう存在しているというところでございますので、ゴム支承がやわらかいとその条件、
1:38:27	もう超過する可能性が高かったので、そういった意味で固めのゴム支承採用する必要があったということで、道路橋梁ゴム支承の方が的適当であるという内容でございます。二つ目の価値が環境でございますが、これは単純にですね検知競合部署屋内飼養想定農協ゴム支承屋外使用を想定していると。
1:38:47	ということで、特にですね、屋外使用を想定していて、結果構造でございますので、昼夜の温度差によって構造材が延びたり縮んだりということでございまして繰り返し変形を受けるといった環境になりますのでそういった、環境下での評価項目も道路橋梁の文章というのは想定しているので、そういった意味でも、
1:39:06	この共用のほうが適しているというふうに判断してございます。
1:39:10	最後せん断剛性の適用性でございますが、建築用のゴム支承はあの建屋が外もいるので、面圧が大きいものが想定されている日本道路共用については建築よりも低い面圧の
1:39:27	適用性も想定されているということで、建築業がですね、ゴム支承の厚さを合わせ込む厚さを薄くすることで支持性能を高めるっていう鉛直支持性能ですね、高めるところが特徴でございます一方道路共用は
1:39:45	鉛直支持性能というよりは、回転追随性ですね、変形追従するとの性能の
1:39:52	性能深める特徴があるということでございます。今回の竜巻防護ネットもう建屋の中に比べたら非常に軽量ということでございますので、建築用のゴム支承を採用しようとしてもそもそも青少年 20 日外れますよということがございます。そういった会計も踏まえて今回は道路共用にしているということでございますが、
1:40:12	その面圧が小さい場合の小さい場合との水平剛性の関係ですねそれをあくまでイメージ図ではございますが第 2 図に示させていただきました。
1:40:25	この事象でございますが、後はですね、変形初期については高い剛性を示す特徴がございます。ある程度変形が出てくるともとのねらい通りの軟らかい性能が出てくるということでございますので、図の右にある通り水平 5 す。
1:40:42	次変位が小さい目は小さいということは製品が小さくなりますので、そういった状況下ですと傾きが比較的大きくなって剛性が大きくなってしまふということが懸念されますということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:55	今回整合性G10ですね、作業してございますが、当面圧が極めて低い状態ですとそのねらっている自重というメンバーの整合性よりは高く出てしまう可能性もあるということで、その上に載せる給料に適合した。
1:41:12	もし書選択するのが完了ということで、ちょっとこちら辺にまとめさせていただきます。
1:41:22	はい、コメント回答は以上でございまして続いてナンバー7のコメントでございます。
1:41:28	可動支承について、と滑り部とか都心部の構造について説明してくださいという内容でございます。こちらのポイント等をですね。
1:41:42	添付の6-28ページをご覧ください。
1:41:54	はい、こちらのほうにもともととか傍証というのはどういったものかといったような説明を追加させていただきました。
1:42:05	2ポチ構造概要の冒頭ですね、ハッチングしているところですが、可動支承は自由時間を有してまあまあのある特定の方向に変形を許容する支障になっているということでございますが、竜巻防護ネットにつきましては、
1:42:20	NS方向の一軸に対しても稼働構造ということにしまして、残りの軸は拘束というふうな構造の支承を採用しているということでございます。このねらいは書いてある通り、温度差で熱伸びしたり、
1:42:36	そういうことがあるのでメンテナンス性も考慮して、こういった構造にしているというものでございます。
1:42:42	2ポツ1の最後にまたで書いてございますが、
1:42:49	あれですね支持制度としましては、先ほど申した通りNS方向以外は拘束条件ということでございますので当然荷重を受ける構造ということになってございます。この荷重でございますが、まず添付6でいろいろと図はつけさせていただきますがすべての部材がですね、支持性能を担保する形で活用が…。
1:43:09	それと材ということになってございますので、すべての部材について構造強度評価を実施することで構造健全性を担保しているというものでございます。
1:43:20	No.7のコメントはクリアランスについての込め読みありましたので、そちらを説明させていただきます。本文39ページをご覧ください。
1:43:33	可動支承はですねとか同士書そのものに当然共用許容できるかどうか稼働できるかどうか範囲が決まっております。今回採用しているかどうか書につきましてはそれは400mmであるということですので、そちら39ページの*2に追加させていただきました。
1:43:51	この400ミリリットルと消火のクリアランスの比較を41ページに今回示させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:58	41 ページの(5)ですね一番下の図をご覧くださいますとか同省の移動可能量 400 ミリを理解して、その横にあるフレーム等支持部材ですかね、クリアランスが 350 準備
1:44:14	いうことになってございますので、当然
1:44:18	設計条件としては、より狭い 350mm が設計条件というクライテリアとなるということでございますので、39 ページの表中ですねクライテリアには 350mm というふうに書かせていただいているという内容でございます。
1:44:32	続きましてナンバーハッチのコメント回答をさせていただきますと資料を添付 11-2 ページをご覧ください。
1:44:41	はい。
1:44:43	No.8 はですね今回時鉄塔の設計の妥当性を示すためにですね、時刻歴解析とスペクトルモーダル解析の比較等を添付 11 のほうで説明させていただいているんですが、製品に方向の入力についてどういった入力をしているのかを追記してくださいというコメントでございまして、添付 11、
1:45:03	黄色ハッチングのところに記載してございます。
1:45:06	なお以下でございますが、今回 S-BITS が厳しい条件なので、こちらを使って分析しているんですが、本体設備についての応答スペクトルに基づく手法による基準地震動ということで方向性を持っていませんので、今回は方向性を持たないまま、そのまま製品に方向にインプットしているんですが、具体的には、
1:45:27	Ss 技術の統一の波をですね、当海水ポンプ室の横断モデルと縦断モデル、それぞれにインプットして、竜巻防護ネットを設置している 1. の地震応答を抽出していきます。
1:45:40	こちらを系統ネットで解析モデルにインプットして評価を実施しているというものでございます。具体的に海水ポンプ室から抽出した応答が次のページの添付 11-3 ということになってございまして、上が断面のモデルから出てきたもの、下が縦断めのモデルから出てきたものと、
1:45:58	ということでこちらを 1 として評価をしているという内容になってございます。
1:46:04	No.8 は以上で最後 No.9 のコメントでございます。
1:46:10	こちらの回答は添付 13-4 ページをご覧ください。
1:46:17	ゴム支承の剛性の不確かさケースというものも評価を実施しているんですが、こちらですね結果について、固有値解析の結果なども踏まえて考察してくださいというコメントでございました 13-4 ページに個別解析の結果を示させていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:34	第 3-1 表にこういう周期書いてございますが基本ケースと不確かさケースプラスがマイナス側それぞれ書いてございます水平方向のX層理方向につきましては、これはもうゴム支承の抵当剛性の違いが顕著に現れて、
1:46:51	基本ケースを不確かさケースのプランを前にそれぞれ大きく固有周期は異なっているという状況でございます。一方Z方向でございますが、基本ケースと不確かさプラマイそれぞれ比較していただくとPlus
1:47:05	1000 分の 1 秒程度しか違いがありません。一方マイナス側につきましては、ちょっとフレームをばりで違いますが、プラス側に比べたら比較的大きく固有周期が変動しているということになってございます。
1:47:18	この理由なんですけれども、前のページ添付 13-3 ページをご覧くださいと。
1:47:27	2-4 表に今回設定した構成書いてございます。基準値のところは 972 と書いてあるのはこれが設計の基本になっている構成でございます。これに対して今回プラス側は 1700 ということで、二倍弱ですね、ある程度のばらつきを考慮しましたというマイナス側でございますが、先
1:47:47	このちょっと議論のあった引張側の合成ですね速度依存性合併性的な負荷試験の 171 程度の非常にやわらかい状態になるということで、さらにここにですね、ばらつきのマイナス側を考慮した政令 42.7 っていうふう非常に低い。
1:48:04	所線を設定しているということになりますんで 970 に比べて約 20 分の 1 程度ということでプラスあと前のほうでちょっと設定が大きく異なるという状況になってございます。従いましてプラス側もともと 972 でも十分に今日だったんですが 1700 という
1:48:22	変化を加えても変わらない挙動一方、マイナス側ですけれども 972 の設計ではある程度ご報告挙動だったんですが、42.7 という設定になったのでこの非常にやわらかいパッカーね的な共同弾性挙動を示すようになったという違いが現れて、
1:48:40	こういう周期にもその辺も変動幅の違いが出てきたというものでございます。これを踏まえた評価結果 13-6 ページと 13-7 ページをご覧ください。こちらですね、今回、基本ケースの発生値を一番右の列にちょっと加えてですね、不確かさケースの結果の比較をしやすいようにちょっと書い
1:49:00	下でまずプラス側、ケース 1 のプロセス側の結果ですが、基本的に硬くなる側なので、正応力としては全体的に大きくなっている傾向って言っても移動量はかたくなるもので小さくなるかなと思ったんですが、
1:49:17	ここはもうスペクトルとの兼ね合いだと思いますガード場所によってはちょっと大きくなっているところもあるという状況でちょっとここは出込み引込みが出ましたという内容でございました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:28	一方、マイナス側でございますが、頭やわらかくなる側なので、応力が基本的には下がっているんですが、一部支障のところはですねちょっと大きくなっている部分がございます。こっちは先ほど説明した通りですね、マイナス側が非常にちょっとやわらかくなったせいで、
1:49:45	設計ベースに比べたらちゃんと支障部分の競合が変わっているということでフレームの剛性クラスゴム支承の合成によって変形強度が少し変わってきたんだらうということがございますので今日処理変形が出るとちょっと力として出てきますのでそういったところはちょっと課税として支障の一部出てきているという状況でございます。
1:50:06	あと変形量についてはやわらかくしているのでは全体的にこれは大きくなっているとかという内容になってございます。そこら辺の工作調査等ですね 13-5 ページ日本語で求めているということでございます。
1:50:19	はいすいません説明ちよっと青くなりましたが以上でございます。
1:50:24	ありがとうございました。どう
1:50:26	こちら、
1:50:35	はい。
1:50:44	規制庁得てですね。
1:50:46	記載がある。
1:50:50	うん思うんですけど、まず今の資料の添付 2-1 ページ。
1:51:01	電算の
1:51:04	ウエキを使って、
1:51:06	子供、
1:51:18	すみません、これについては、
1:51:22	ちょっと一部ですね
1:51:24	水晶ポンプとして思想という項目あるんですけども、これは可動支承部署
1:51:32	両方も冊子っていうという理解でよろしい。
1:51:40	はい。
1:51:43	東北電力ナラダテです。今おっしゃっていただいた添付資料にも、
1:51:48	あと動作可能なのはある程度先延ばしで、
1:51:56	今の件ちょっと飛ばしますので、
1:51:59	別途、次の質問です。
1:52:03	はい、了解しました。
1:52:05	で、
1:52:12	前回ちょっと私のほうから、
1:52:15	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:16	黄色ハッチングがかかっている。
1:52:19	原子炉格納容器のポイントですなんですけど。
1:52:23	これは括弧内に示されているように、原子炉建屋のプレス。
1:52:30	格納容器恐れについてする。
1:52:35	という
1:52:36	ハードでいくんですけど。
1:52:39	通常、
1:52:40	案
1:52:41	この際、格納容器の
1:52:44	周期としてこういう書き方っていうのはするんでしょうか。
1:52:52	。
1:52:53	東北電力ナラダテです。とですね
1:52:58	原子炉格納容器につきましてはご存知の通り連成解析ですね建屋と連成解析で解いておりますのでPCV単体での固有周期っていうのは、これは単独モデルみたいなものがないので、算出できていないということでございましてその連成解析の固有値解析結果
1:53:16	からそれぞれ建家メインのこういう周期だとかその他あの例えばPPの固有周期ですねっていう分析をしていくわけですが、残念ながらPCV監督OWTFみたいなものは発言して稲穂より向上見て変わるのかもしれないですが、代表的なところで当てていないということで、
1:53:34	何かを書くとしたら、ちょっと建屋と一緒に動くモード書くしかなかったのでもっと今こういう書き方をさせていただいております。通常の固有周期の書き方とちょっと異なるようにはなっております。以上です。
1:53:47	規制庁得てです。
1:53:49	ちょっと今説明したいただいた内容の通りの思うんですけど、多分別区画に大きい簡単こういう周期は、
1:53:58	20片方に寄って、
1:54:04	このように、関係ないというか、必要がないというふうなんですけど。
1:54:10	いや、
1:54:12	前番手これ深く必要があるのかなというところでちょっと検討していただきたいんですね。
1:54:19	の応答に依存して例えば支払うつきのそういうことはあるかもしれないんですけど、今のこういう周期の一般的な説明をするところであって、格納容器を示す必要があるかっていうところが、
1:54:37	以上

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:40	はい、東北電力ナラダテです。
1:54:43	ここの説明出資はあくまで何でしょう、竜巻防護ネットの固有周期等その他代表的な設備の固有周期を比較することがメインでちょっと固有周期が適さないものが入れていても確かに指摘の通りしょうがないかなと思うんですねちょっとこちらへ昇格の予備については削除の方向で適正化させていただきます。
1:55:03	規制庁、
1:55:06	あと添付
1:55:13	真ん中辺りですね、もう僕あまりするっていうところは出てくるんですけど、これはやっぱりとしては、
1:55:24	これもまた別途スペクトルモーダル分を合わせたモーダル解析、
1:55:30	言ってる。
1:55:34	はい東北電力ナラダテですはい。この指摘の通り自己コアの着用の①に書いている一般論として、そうですね時刻歴モーダルとか
1:55:45	スペクトルモーダルそういった僕ら解析全体のことをさせて記載として書かさせていただきました。以上です。
1:55:51	規制庁の上、
1:55:53	いや、
1:55:57	問題
1:55:59	は別に、アナリシス
1:56:02	その辺を
1:56:04	だって、
1:56:08	両方の括弧書きで、
1:56:11	1円か。
1:56:15	新しい言葉、
1:56:17	ちょっとお願いしたいんですが。
1:56:21	はい、東北電力ナラダテですと今一度着用の①の記載内容を踏まえまして、わかりやすい記載、元の話つけわざわざ書く必要のないような気がするのであえて記載する設計適正化したいと思います以上です。
1:56:35	あと、
1:56:36	10ページ
1:56:39	これもまた構造に
1:56:43	安いの扱いとして、換気ひずみエネルギー比例型減衰を使っているという説明があって、
1:56:52	これこれだと思うんですけど、要は、例えばから

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:59	解析ですまでの解析ですと、Rayleigh減衰とか使う場合もあるんですけども、%Post—一時 20 分をどこに置くとか、ちょっと検討を要するものがあるので、ひずみエネルギー比例型減衰。
1:57:16	そういう問題がないので、
1:57:19	ちゃんと自体はない。
1:57:23	うん思うんですけど。
1:57:25	もうちょっとさっきてるんですねちょっとLESの使う場合があるので、図面エネルギー比例型減衰の
1:57:33	どんな解説っていうかその数式とかそんなに多くないと思うんですが、それを追加していただきたいんですけど。
1:57:45	はい、東北電力のです。はい。墓石の内容を理解いたしましたのでそうですね正式数式を追加するなどを開析度を充実させていただきます。以上です。
1:57:58	あと、同じぐらい。
1:58:01	固有値解析は各構造要素に減衰乗数、
1:58:07	という記載があるんですけど、これ固有値解析では僕はそういうふうに
1:58:18	電力ナラダテそうですね、おっしゃる通りでは方法が適切かと思しますので修正させていただきます。以上です。
1:58:26	規制庁話しますと添付の 11、
1:58:31	で、
1:58:39	この資料 11 については今日の個目方等ですね、
1:58:47	わかりやすくするとしても、
1:58:51	もう
1:58:54	11-1 ページの
1:59:00	例えば 1 の概要のところ地震荷重の
1:59:03	SaaS適用とか、あと 2.1 のパイプも
1:59:10	SRSS項目適用性というふうに書いてあって、
1:59:15	本文のところ、
1:59:17	要はですね水田直交方向も組み合わせる事象の組み合わせ等としてそれぞれスポーツ。
1:59:24	どういうふうに書いてあるんで、そちら
1:59:27	それから 4 で行けばわかるんですけど。
1:59:31	感じたかっていうのは何か地震荷重の組み合わせ。
1:59:35	そのことが全く書いてなくて、心配する組み合わせで作動ですとしか書いてないので、これは僕合いがないように、
1:59:44	続いて、続きは。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:47	の組み合わせという
1:59:49	YKT、
1:59:52	うん。
1:59:53	。
1:59:56	TRACE承知いたしました。誤解なきよう水平と鉛直というキーワード入れて処分させていただきます。以上です。いや、添付資料 11 の中で自分のとき 73 すだれ工数
2:00:10	うん。
2:00:11	どる。
2:00:16	検討します。
2:00:19	それを作ってですね女同じ企業ハッチングのところで、
2:00:23	うん。
2:00:26	はい。
2:00:27	実はですね、適応するところ。
2:00:29	2 行目の最後からこれに加えて地震荷重組み合わせでIVが異なる時刻歴を設置し、妥当性を検討したっていうふうに書いてあるんですけど、
2:00:42	これは一昨年の理解は
2:00:46	時刻歴解析のまた台数は方っていうのが、より現実的な方法もあるので、
2:00:52	その一つ僕の言うことかと思うんですけど。
2:00:57	書いてあるのか何か地震荷重の組み合わせポンプが異なるというふうに書いてあってばたんば別の方向、
2:01:06	比較している。
2:01:08	噴出量なので、さっき私が言ったような趣旨現実的な方法でパッカーが増加するとして、その時刻歴解析法も、
2:01:19	台数はほぼ
2:01:22	うん。
2:01:23	はい。
2:01:24	ただ、
2:01:25	うん。
2:01:27	はい。
2:01:31	はい。
2:01:32	トレスカのウエキさんおっしゃる通り今回比較で時刻歴とSを用いたのは一番、実際の挙動に近いAとか解析手法だろうというふうに考えてくれと比較をしているということでございますので、ちょっとこら辺わかるようにですね、修正させていただきたいと思います。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:51	あと、11-2 ページ、先ほど 3 プロセスの地域づくりカンセキ
2:01:59	その地震動 3 ですが、御説明対応は可能です。それでちょっとこれ、この応答 How の位置ってというのは、
2:02:12	解析モデル上で消火というのは一般%Special の場合はもう普通点包絡する っていうことができるんですけど、時刻歴ファイバーの場合はある。
2:02:26	なるほどの的な 1 点になると思うんですがその辺はいかがでしょうか。
2:02:35	はい、東北電力ナラダテですとですね、本部のモデルその方向で少し説明さ せていただきたいんですが、12 ページをご覧ください。
2:02:49	また 12 ページ等々のモデル図がございますが、今回使った時刻歴応答はで すねこの中の右上ですね 2701 番の疾病を適用してございますと続いて次の 13 ページ柔軟なモデルでございますとか、こちらはですね。
2:03:06	赤点線で囲まれた中の一番左上の 1378 番の地点を使ってございますが、こ ちらを使った理由は当然評価は厳しくなるようにという観点でスペクトル、スペ クトル上とかその固有周期、
2:03:22	で一番厳しい経営等々を使いたいという目的でこの 2 点をピックアップしたと いうところで、
2:03:29	ございます。ちょっと今そこら辺の説明のけているので、ぜひ追加のを追加 して、ここら辺使ってますという内容を記載させていただきたいというふうに思 いますが、ちなみにですね他の失点もそれほど応答に大きな違いはないので 使ってるみたいな結果になったとは、
2:03:45	ていますが一応その一番厳しいところというふうにして選定してございます。以 上です。
2:03:51	委員長です。わかりました。
2:03:55	10 ページ添付 11 ページにあるため、
2:04:00	もう同じ
2:04:02	ある種の一般スクリプト同じ点っていうのをどうする
2:04:10	というふうに
2:04:16	はい、東北電力なろうとですね。すいませんちょっとこちらは確認できてなかつ たんですが、恐らくは、その通りだと思imasのでちょっとこちらもあわせて確 認した上で両方等を選定した観点ですね、そちらの解説を追加させていただきます。 以上です。
2:04:34	規制庁ケーソン流します。本検討は手法の差による影響も見ているので、応 答スペクトルの処分検討としては同じ時刻歴と同じであって、
2:04:49	の方がよりわかりやすいん法令等の少ない設定どちらとところとしてないとい うふうに聞いたけども、その辺も含めて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:03	うん。
2:05:04	うん。
2:05:05	プラス、
2:05:07	はい。
2:05:08	していただければ。
2:05:21	そうですね。
2:05:24	あと、ちょっと記載について3点だったんですが、ちょっとそもそも
2:05:32	本文の18ページ。
2:05:35	で、解析モデルが出て、
2:05:38	もう
2:05:40	もう
2:05:43	例えば、ゴム支承というのが、
2:05:48	活動が
2:05:50	これはマグマの方はそのフレーム数で下が5割しそうかなと思ったんだと思いますので、あともう一つ
2:06:01	／ブレスト補強材。
2:06:05	のがあると思うんですけど、これはフレームの各部材を示しているんですが、
2:06:14	これバックアップ用にちょっと書いていただけないかなと思うんですけど、要はもう
2:06:20	3ページに、
2:06:23	ねえ。
2:06:26	ありますけど、これともそれぞれの解析モデルのそれぞれの方法とか施工飛び
2:06:36	としまして、
2:06:41	はい、東北電力ナラダテで処理しました。18ページのあれですね部材名と修正させていただきます。以上です。
2:06:50	39ページ。
2:06:53	はい。
2:06:54	④。
2:06:56	④でフレーム浸水防護堰です。
2:07:01	そういうのがあるんですけど、この浸水防止AP
2:07:05	そういうことですが、
2:07:11	41ページのほうも、真ん中の図で左側に質疑的っていうのがカップリングが同じもの。
2:07:21	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:24	はい、東北電力ナラダテです。そうですね、ご指摘の通り 41 ページの地質水平機が浸水防止平均 39 ページの浸水防止堰に当たりますすいませんこちょっと 41 ページの名称が修正忘れになるかと思います。
2:07:39	まだ正式名称は浸水防止堰というふうになって今回購入向けの資料としてこちら辺修正した経緯があるのでちょっとそれは破られたかと思いますので修正させていただきます。
2:07:51	あと、最後なんですけども幼虫 2 ページ。
2:07:55	4 ポツの公立構造の成立性確認結果
2:08:00	その成立性を確認したっていう
2:08:04	記載なんですけど、これ、
2:08:08	本人での審査でも成立性っていう言葉ではなくてですね、耐震健全性とか、
2:08:16	そういう最終的な確認の結果なので、
2:08:21	成立性っていう言葉はあまりよろしくないのかなと思うんですが、
2:08:27	はい。
2:08:28	はい、東北電力ナラダテです。
2:08:31	拝承しました前回まではですね冒頭申しました通り不確かさケースとかまだやれてなかったっていうところもありますし、ちょっとこちら対比計算書ですねこの姿勢という背景もあったので、構造成立性という書き方にとどめてたんですが、隻の通り大体もう設計と
2:08:47	県でやってしまっているというところもありますので、ちょっと言葉はですね健全性等に変えさせていただきます。以上です。
2:08:54	規制庁のですね。私からは以上です。
2:08:59	はい。
2:09:00	まだできましよう。
2:09:04	規制庁のヤマウラけどちょっと記載だけで申し訳ないんですけど、この 1-3 の
2:09:11	添付 6-3。
2:09:13	の
2:09:14	一定のモデル化のところで、なお書きはあるんですけど。
2:09:18	なお部門支障の会計もこの拘束条件については変わっている。どうぞ。
2:09:26	その後の文章で 3 方向 10 として設定するというふうにあるんですけども、もう回転方向なので、
2:09:35	3、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:36	37とか、3ページ、法的にどうしても低信号口頭思い込んでしまいますので、ちょっとこの金利業務検討していただきたいんですけども、同じような病院が10ページ。
2:09:51	18ページとか、
2:10:03	東北電力ナラダテですね、やはり3方向という表現閉止とか意見で表現をわかりやすく分けたほうが良いという案が御指摘だと思いますので、ちょっと資料全体確認させていただいて、統一的に改定については、そうですね、襲っていた通り30あまりそういった言葉で統一させていただきたいと思います。
2:10:23	以上です。わかりました。よろしく願います。以上です。
2:10:33	はい。
2:10:35	規制庁10月でと言ってだけ
2:10:39	資料。
2:10:41	3.1-3の
2:10:43	添付資料の1-4です。これ先ほど御説明並べて、
2:10:50	水道料に関しては、建築局の照査の剛性が低いからクリアはそばにいないとおっしゃられて、
2:10:57	一番最後に今度は
2:11:01	この最後のCの部分ですね。
2:11:04	建築よってというのはメール圧が小さい状態だと、せん断剛性が高くなってしまいますので、記載されてるんですよ。
2:11:14	移動量で記載されていることと、あと最後に、その面圧は剛性が高くなるって言うことができますね、I矛盾してるような気がするんですがその辺いかがですか。
2:11:29	はい、東北電力ナラダテです。今ご指摘の通りですね、ちょっと矛盾しているように見えてしまうかもわかりませんが、(1)の移動量で書いてあるところはあくまでこれ水晶面圧に適合した条件下ですね一般的にちゃんとを期待するゴム支承性能が発言したと。
2:11:48	いう前提で設計をしていくと、建築業法がどうしてもやわらかいことになるので、クリアランス的に厳しくなるんだらうというふうな考え方を持ったってことで、まずこれはですね公共交渉を採用するAPD等の設計、
2:12:05	基本設計を進めていく段階で何だろう、ゴム支承がやわらかいのはちょっと厳しいんじゃないかというところで共用を選択しましたよという内容かさせていただきました。一等を実際に設計を進めていってまずせん断剛性を
2:12:22	その功績に取り込む段階で、その(3)のせん断剛性の考え方に至ったときに混焼ラインナップを見ていくと、建築用今回我々が今の設計した竜巻防護ネット

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	トも途中量では、建築ゴム支承では生食やつから外れてしまいますよねっていうのが、
2:12:41	そこら辺はある程度授業の設計とか進んできたらやっぱり育ったねっていうのがわかったというところがありますので、その基本設計やのその進捗を踏まえてそれぞれの状況が明らかになった中で、それぞれの項目についてやはり東京の方がよかったねっていうことをちょっとこうまとめさせていただいたので、
2:13:01	ちょっと見た目は相反するようなことを書いてるように見えますが、それぞれその評価に応じて適切な方法を選択していますということを書かさせていただきました。以上です。規制庁のみです。別にここに記載されていることが、特に何かこうだっていうことじゃないんですけど。
2:13:20	今先ほど6にちょっと矛盾する内容があるので、矛盾しないように、文章中中で整理をしていただきたいと思います。
2:13:27	例えばその建築洋画含めやつが低い場合には不向きだよ、すぐだったらそこだけでいいんで、ちょっとせん断剛性の話がかぶってしまってるんで、少し文章の見直しをお願いします。いかがですか。
2:13:40	はいトーク電力ナラダテです。はい、承知いたしました。トップ(3)が少しこの記載になったのもあって、矛盾したように見えているのもうちちょっとこうスリム化してそもそも青少年を使う外れているっていうところで期待する構成が
2:13:57	何かやれないっていうことになりますのでちょっとそこら辺への注目した書き方に修正させていただきます。以上です。あえて、最後のところで進ん妥当性のユーザー頑な事だったらあんまり必要。
2:14:10	それともお願いしますします。
2:14:15	あのさ、
2:14:23	3-1-3の資料の
2:14:26	11ページ
2:14:27	図がついてると思うんですけど。
2:14:30	ウェイ断面についてはどう理解できるんですけど、サブリーダー一点もちょっと13ページにあるザマというCSWの技術能力リターンですけど、この3点、右の肺も3図だと。
2:14:45	このBB断面のところに、1ページSW一示させてRO水これまでの広告などさせたと思うんだけど、そうするとちょっと流そうがあるように見えるので、ここは、
2:14:59	あわせてなんかのポンプの位置が示したいならその一応、丸かなんかで示すとかないとよくわからないなと思うのでそこ修正願います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:18	なるほど、定量ございませ等 11 ページの 3.2-3 図の図中にAとBやC-7 もまだ規模が入ってございますが、その補機ポンプエリアですね真ん中のエリアに丸が五つですか。
2:15:35	大きい目の丸が四つ小さめの丸が一つあって、これがですねそれぞれあるSWとBS-Bに相当するということございまして、BやC-1 があれですかねちょっと地方に置かれてしまっただ対応してないってところがあると。
2:15:51	見づらいつことだと思つので、このBB足をちょっとずらして下のほうにするなどしてあれサブルート公益PSRが見えてますよつていうふう
2:15:59	仕事かなと思つますがそんな修正でよろしいですかね。それで問題ないと思つます。よろしくお願ひ。
2:16:06	電力ナラダテ承知しました修正させていただきます。それと、添付 1-2 それに絡ん変わるんですけど、添付 1-1 で法務省の報道機関等のところの
2:16:16	1-2 の図が一番全部一度に納付があると思つんですけど、これ
2:16:22	さっきの不動産僕が逆になつてるので。そういうツールだと思つんですけど、ファイダーの面、
2:16:31	ポンプ 4 台あるように見えるんですけど下がCC断面Beyond書いてあつてですね、ちょっと合わないような気がするんですけどあと
2:16:40	JA断面も本会で大丈夫だと見えないんですけど、DB駄目だと多分、
2:16:46	ポンプをもし書くならば、ちょっと何かこの図が全体的によくわからないなという気がするんですけどいかがですか。
2:16:55	はい。
2:16:59	電力ナラダテですと添付 1-2 ページですねこちらの図が確かにCCb断面でRSW入つてるけど、PSRに入つてないのかちょっとあれですねと平面図との整合性がわかりづらいつところがあるので、
2:17:15	そちらはですね対応するように修正させていただきたいと思つます。他のだめBB断面につきましても同様ですね、ちょっと全体見直して修正させていただきたいと思つます。以上です。
2:17:27	以上です。
2:17:29	以上でじゃあ全体としては追加でコメントあれば、ちょっと私のほうで
2:17:37	今日の説明は特に人員の 4 図 1-4/8 で、
2:17:43	うちのほうの 1 のほうで、
2:17:49	はい。
2:17:52	これどう設置許可がどう設計と詳細での比較なつてるんですけど、52 分の 6 ページ。
2:18:03	ここは

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:07	さっき説明があったと思うんですけど。
2:18:10	備考にゴム支承の変更も変更とか、前工程については備考に締めくり変わっておいてください。下の図でとかさ何も変わってると思うんですけど、その部分の考え方も一向に加えてください。
2:18:26	あとこれ来るだろう。
2:18:28	壁も変わってるんですよ。
2:18:31	今まで説明南側の右が多かったんですけど、北が目標で変わってるので、この部分を少し変えていただければと思います。
2:18:40	どこが
2:18:43	55-13 ページ。
2:18:47	これさっきゴム支承のサイズがされてるんであれば、
2:18:51	もしてる内容が変わって所私ども最適化としてるんであればその辺の
2:18:58	肝心の違いを遂行に明確になっております。
2:19:05	そういう向上と 19 ページの
2:19:10	操作で詳細設計制作した見方だけ CCW ところも、
2:19:16	加斗市長が持っているところも、
2:19:20	赤い矢印が 3 方向になってるんですが、これどういう意味で入ってるんでしょうか。
2:19:30	左側から勝負するのに、
2:19:33	1 人なんで差オープンでやってるんですかって言うし、
2:19:39	東北電力ザマです。
2:19:41	全然 20-C 断面の詳細設計段階のほう、そうですね、はいと。
2:19:48	3 行書いてあるのコアの業務支障
2:19:52	の上にバリアの出ますので、ゴム支承のプロで 3 法という、
2:20:01	これ、
2:20:02	どうぞ。
2:20:04	伝達線変わってる。
2:20:10	上にも言ってる。
2:20:11	はい。
2:20:17	そうです。
2:20:21	ちょっと確認してもらっているのですね、荷重のほうとしては、
2:20:28	左から右とか、
2:20:31	あるんですけど、実際に評価をすると。
2:20:34	いっぱいだったり、あと、
2:20:37	次に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:41	2 日をもって、
2:20:49	じゃあ、本日のヒアリングのほうを終了した中でどう 6 年の大手さん何かありますかね。
2:20:55	はい。
2:20:58	こちらから、
2:21:01	ここにちょっと
2:21:02	わかりましたけれども、ミーリング報酬。
2:21:09	ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。